

2 決算の概要

◆ 普通会計決算額

北急延伸及び新駅周辺整備費の減およびその財源となる国庫支出金や市債の減などにより、歳入歳出ともに減少しました。

歳入総額	770億28百万円	<▲	66億31百万円、▲ 7.9 % >
歳出総額	718億63百万円	<▲	53億46百万円、▲ 6.9 % >
実質収支	15億63百万円	<+	96百万円、+ 6.6 % >

◆ 主な歳入の状況

①市税収入	250億19百万円	<+	9億73百万円、+ 4.0% >
固定資産税	+ 6億15百万円		個人市民税 + 2億15百万円
都市計画税	+ 92百万円		入湯税 + 24百万円
法人市民税	+ 16百万円		
②各種交付金	37億94百万円	<+	1億40百万円、+ 3.8% >
地方消費税交付金	+ 1億83百万円		株式等譲渡所得割交付金 ▲ 1億09百万円
③普通交付税	22億98百万円	<▲	1億40百万円、▲ 5.8% >
④国庫支出金	190億77百万円	<▲	39億00百万円、▲ 17.0% >
地方創生臨時交付金		+	3億93百万円
学校施設整備費負担金		▲	8億86百万円
社会資本整備総合交付金		▲	12億87百万円
子育て特別給付金補助金		▲	22億26百万円
⑤地方債	23億31百万円	<▲	13億23百万円、▲ 36.2% >
水防整備		+	2億32百万円
彩都の丘学園増築等		▲	7億23百万円
船場まちづくり		▲	14億73百万円
⑥繰入金	39億47百万円	<+	3億12百万円、+ 8.6% >
北大阪急行南北線延伸整備基金繰入金		+	31億20百万円
財政調整基金繰入金		+	4億88百万円
都市施設整備基金繰入金		▲	28億30百万円

◆ 主な歳出の状況

①義務的経費	344億06百万円	<+	35億21百万円、+ 11.4% >
人件費（退職手当、ALTなど）		+	2億79百万円
扶助費（子育て特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金など）			▲ 18億96百万円
公債費（繰上償還など）		+	51億38百万円
②投資的経費	164億55百万円	<▲	86億92百万円、▲ 34.6% >
学校太陽光発電設備設置		+	10億21百万円
旧阪大キャンパス建物		▲	27億30百万円
北大阪急行線延伸整備／新駅周辺まちづくり		▲	52億94百万円
③その他	210億02百万円	<▲	1億76百万円、▲ 0.8% >
物件費	+ 9億48百万円		補助費等 + 6億94百万円
積立金	▲ 19億13百万円		